列島だより

ちびっ子らも熱戦

北海道　札幌市豊区で雨がふった一夜のスノーホッケー大会（同連絡会主催）で元気な子どもたちの声が響きました。小学五、六年生から三十八チームが参加し、熱戦を繰り広げました。写真、スノーホッケーはサッカーやホッケーのルールの用具をもとに札幌市が考案したものです。

全市町で未統一日

滋賀　国旗掲揚を求めるが、統一国旗掲揚と平和への行動を呼びかける「平和・平和」自治体宣言決議」をとるが、「体験の既存を求める議案の会」の議で分かりました。同会によると、全自治体の宣言は九割、神奈川県、鳥取県の三県に続くもの。議員にも賛成を求めていきます。

三宅島に届ろう

東京　みんなで三宅島へ明るい。鳥取と愛媛をつなぐ「三宅島支援ネットワーク」は十人がいまだに帰れないなかで、一月末、鳥取・愛媛を集いを東京都新宿区で開きました。鳥取や市民の四十人が参加し、日本舞踊やダンスを、歌などを楽しみました。（写真）

スケート場設置を

新潟　新潟市でスケート場がないことから、日本共産党が、いがらし氏に「議場は一月末、市教育委員会にスケート場設置を要請しました。スケート愛好者の事務が十九人は、市議会対応に、既で検討していきます。政令市でないのは川崎市だけです。

過疎の集落 振興へ

日本の中山間地域はふるさとの原風景です。そのふるさとの集落維持が困難になっています。65歳以上の高齢者が半数を超す限界集落が増えるなか、過疎から地域の振興をめざし奮闘する姿を紹介します。

岩手 遠野市（とおの）

和牛飼育の農民（中央）と農協職員の打ち合わせをする小松市議（左）＝遠野市長野

限界集落

「限界集落」生活が難しくなっている集落。里山、棚田、山林など自然が豊かな中山間地域です。高齢化と過疎化がすすみ、このままいけば二千三百集落が消滅すると国の調査（一九九九年）は予測しています。日本は二酸化炭素など温室効果ガスの削減義務を負っています。地球温暖化対策からも中山間地の森林の果たす役割が期待されています。

クマの大量出没 高齢化も背景に

遠野市は昨年、クマの大量出没がありました。市がまとめたクマ出没件数は百四十四件。前年（二〇〇五年）の約三倍で、農作物被害や人身事故のほか、クマの交通事故もありました。奥のブナの実凶作が原因とされますが、森林の荒廃、集落の過疎と高齢化が出没の背景にあります。

遠野市は昨年十月、隣の宮守村と合併。人口は三万一千九百人余になりましたが、八年後に二万八千人台に落ち込みそう。現在六十五歳以上の高齢化率は29・1％。一九七五年は三万八千百四十六人（高齢化率10・3％）でしたから、三倍以上の高齢化です。

地域守る多様な活動

産直、学校給食や営農も

「民話の里」として知られる岩手県遠野市。人口減と高齢化の進む村で住民が手作りにされているのが自然共生型の区長と結束です。

五十五歳以上の人口が半数（高齢化率10・3％）でしたが、「生産物がないと売り、税金が払えないという相談も多い。

農業収入、農外収入の大幅減少で生活相談が急増して、鮫大農業物産協（農内世帯が下降し、新作物栽培が進まそいます」と心配します。

共産党市議や党員区長に期待

そんな中で、農家の助けとなっているのが小友町農業組織加工施設「産直とおちゃん」。産直のモットーは「食の安全・安心・新鮮」です。販売コーナーには野菜や雑穀、天然酵母パンなどが、小松市議も組合員で、レジにも立ちます。

農協所は高齢者の交流の場になっています。学校給食との連携をすすめ、地元食材が使われるようになったのが組合員の励みです。農組合長の佐々木泰治さんは「高齢者の組合員は、自分がつくった野菜や加工品が消費者に待たれているのを喜びにしています。産直は人と地域を元気にします」といいます。

高齢者の生産と販売活動は、〇三年、〇四年の三日議会代表質問で、市役所から遠隔地では「人口の減少と高齢化の進行によって、共同作業や農社所の助け合いや農業機能の弱体化が現れている」と指摘し、福祉・医療・交通・産業などを総合的な「村おこし・町おこし」計画の策定と市役所内での窓口の設置」を求めました。

〇四年、綾部市は企画部に、五つの集落（市茅野、大唐内、栃、古屋、市志）を含む梁上林・中上林地域を対象に地域振興総合事業の配置を行いました。翌年には、信用金庫等の連携に、商工会議所と上林いきいきセンターを開設しました。

住民が共同し特産品づくりも

地域の自治会や関係団体が知る地域振興協議会が組織され、取り組みがはじまりました。

水源の里対象5集落の世帯等

（06年4月）

集落	世帯	人口	高齢化率
市茅野	6	12	100.0
大唐内	19	30	63.3
栃	12	23	60.9
古屋	6	7	85.7
市志	13	23	100.0

水源の里対象5集落の世帯等

水源の里対象5集落の世帯等

水源の里対象5集落の世帯等